

2019年度活動報告

- 4月統一地方選で、議員ネット代表の戸田門真市議が維新の津波に押されて6選ならずで落選！岸和田市議選で高比良さんが超僅差で届かず。・前茨木市議の山下さん（新社会）が大阪府議選に届かず。★川西市議の北上氏（社民党）が兵庫県議に当選！◆神戸市議の高橋氏（無所属）が加入
- ★ 8月の福島県鏡石町議選で、前回冤罪逮捕影響で落選した円谷寛氏（反原発ベテラン新社会党）が見事に復活当選！・前豊中市議の酒井ひろゆき氏（社民党）の今年1月退会で、現存会員数は47人に。
- ◎ 47会員中、現職議員25、前元職9、候補検討者13・・・018年度に比べて現職1減、会員数変わらず近畿37（大阪28・兵庫9・京都1）、中部2（愛知1・長野1）、北陸1（石川）、関東3（東京3）、東北2（福島・秋田）、九州2（鹿児島）
- 7月参院選で自公は2/3には届かなかったが過半数を維持し、準与党の維新の結託も含めて、アベ政治は底なしの不正腐敗と民衆収奪強権政治を進めた。しかし「桜を見る会」疑惑=総理の犯罪追及などから「アベ政治の終わりの始まり状況」になってきた。
- 労働運動と協同組合運動それ自体を否定するに等しい「連帯カンナマ大弾圧」が続き、ヘイト右翼から当ネット会員議員への名指しの誹謗中傷も続いたが、会員は毅然として当ネットに結集し続け、秋からは「カンナマ弾圧に反対する自治体議員声明」運動を展開して、当ネットの枠を大きく超えて、23都道府県の自治体議員126名（前職・元職を含む）の抗議声明賛同発表を勝ち取り、11/16カンナマ弾圧反対全国集会への議員約20名の結集につなげ、今後の運動深化の基礎を作った。
- ★ 会員は各地でアベ政治反対・反ヘイト・辺野古基地反対・原発再稼働阻止、行政の適正化等で奮闘。
- ◎ 資料郵送は5回行なった。◆ 新規ML開始、資料添付も可に。● 会計逼迫（戸田からのカンパ困難で）
- 「会員有志の発案企画による勉強会的集会」の年度方針は、2019年度も各人多忙で実行できなかった。

2020年度役員人事(案)

代表：戸田ひさよし ・前大阪府門真市議
(連帯ユニオン近畿地本顧問)

副代表：木村まこと ・大阪府豊中市議
(森友問題追及で提訴等)

中西とも子 ・大阪府箕面市議

今年の会員の自治体選挙

- ◆ 4/12：茨木市議補選
・前茨木市議の山下さん
- ◆ 4/19：大東市議選
・大東市議の光城さん
- ◆ 8/23：箕面市議選
・箕面市議の中西さん
- ◆ 10月：大阪府泉南市議選
・元泉南市議の小山さん
- ▲ 11/1? 大阪市住民投票：都構想で

2020年度活動素案

- 1：連帯ユニオンと力を合わせて、「警察権力・大阪広域生コンクリート協同組合・ヘイト右翼が結託した連帯労組攻撃」をやめさせる運動を引き続き展開していく。武委員長・湯川副委員長奪還！
- 2：★各地で「公共工事および公共施設を使用する工事のコンプライアンス点検運動」を開始推進する。
- 3：安城市問題を初めとして、各地で「ヘイト扇動を許さない自治体づくり」に奮闘する。
- 4：安倍政権打倒、改憲阻止、「自公維新」粉砕、衆院選勝利、都構想粉砕運動に積極参加する。
- 5：全原発の停止廃止を求める種々の運動と連携する。「沖縄意見広告運動」に協力する。
- 6：行政・企業の改善、地域住民の生活労働条件の向上に資するべく、会員相互・会員と連帯ユニオンとの連携を進める。「違法企業に甘い行政」の体質改善を共同して行なう。
- 7：郵便ニュース・資料発送を年間4～5回程度行なう。◆口座のネット管理が可能になった。
- 8：「事務局N氏の沖縄転居」対応で、「戸田代表の事務局就任・N氏にネット諸作業委託」をする。
- 9：議員会員の増加を目指し、選挙のある会員に出来る範囲での支援を行なう。
- 10：MLで若干の資料添付が可能になったので、これを活発に利用して情報・意見の交流を広げていく。
- 11：●会計逼迫を打破するため、「カンパ収入」を予算に組みこんで積極的に募っていく。
- 12：第16回大会を2021年の2月前半に行なう。ほか。